

### (3) がん死亡

がん死亡では、男性は1位気管・気管支及び肺26.3%、ついで胃、肝及び肝内胆管の順となっており、全国と同様の傾向にあります。女性では、1位胃18.4%、ついで気管・気管支及び肺の14.6%、大腸の順となっており、全国とほぼ同様の傾向です。

65歳未満の死亡では、5年間で、男性は気管・気管支及び肺と、肝及び肝内胆管が各34名(19.8%)、女性では胃が23名(20.5%)と多くなっています。

※特徴:男性では、全年齢・65歳未満とも肺がんの死亡割合が高く、また、若年では肝がんの割合も高い。女性では、全年齢・65歳未満とも胃がんの割合が高く、次いで肺・胆のうがんが高い。若年では、肝がんの割合も高い。乳がんは全国より低い、死亡割合が2位と上位である。子宮がんの割合は低い。

